地域にチカラを、日常に実感を。

神山洋介 vs 総理大臣
天下り問題

天下りの事前チェックはしているの？
神山洋介は独自に１３省庁ヒアリングを実施。
全面実施を求めるも、総理は逃げの一手。

好物の湘南ゴールド

神山洋介の議員立法① 天下り禁止法案

「まずは、バケツの穴をふさぐこと」

- まず OB によるあっせんを禁止し再就職規制期間を設ける。
- 内閣府の調査結果が明らかになれば、さらに追加措置をとる。
- 天下りの原因となる公務員のキャリアプランを見直す。

アベノミクスの成果は地域の暮らしに届いていない

私たちの日常、地域の暮らしは、どうなった？

思い出してください。約3年前の総選挙。それから、私たちの暮らしが良くなったのでしょうか。将来に抱く不安感が小さくなったのでしょうか？

いくつかの指標は数字が上向いていますが、景気回復の実感に至りません。異例の景気刺激策により株価が良くなっても、日常生活の実感を伴えなければ将来の不安は大きなまま続きます。

神山洋介 vs 官房長官
加計学園問題

規制改革は必要。
しかし公平性は担保されるべき。
神山洋介の指摘を受けて
翌日、文科省は再調査を開始。

安倍政権が逃げた国民への説明、国会での議論

「仕事人内閣」は、どうなった？

憲法の規定による国会召集要請を与党は黙殺。国会での議論・説明は３か月間行われていませんでした。新しい『仕事人内閣』との論戦を準備していると、今度は形式的に国会を召集。逃げるように解散しました。

神山洋介 vs 防災担当大臣
事前予防・災害予防のコスト

神山が指摘する
災害予知段階の「法の穴」

良し悪しは総選挙が示す

森友学園・加計学園問題は、どうなった？

疑惑を公の場で弁明すること避けたいのでしょう。私も委員会質疑で官房長官に何度も答弁を求めましたが返答はなし。総理の「真摯に説明する」との発言はその場しのぎ。今後も解明に向けて、強く追及していきます。

県西部の課題は残ったまま

地域創生、災害対策は、どうなった？

箱根大涌谷の噴火をきっかけに、日本の災害対策に「災害の事前予防・災害予防のコストを埋め合わせる法律」の検討をと提言し続けましたが、政府に対応するつもりはありませんでした。

目玉政策という地域創生が進んでいないことは、地域の皆さまが一番よくご存じのことと思います。

御殿場線 IC カード導入は、一歩前進することができました。通勤通学に欠かせない「ピッ！」が実現するまで、さらに要望を続けます。

活動地域は（ジ モ ト）神奈川１７区

This is ユーシン・ブルー！

街頭からも国政報告

おもてなしの心

梅の開花から春の訪れを

箱根駅伝
みんな頑張れ！

二宮尊徳の教えを伝える